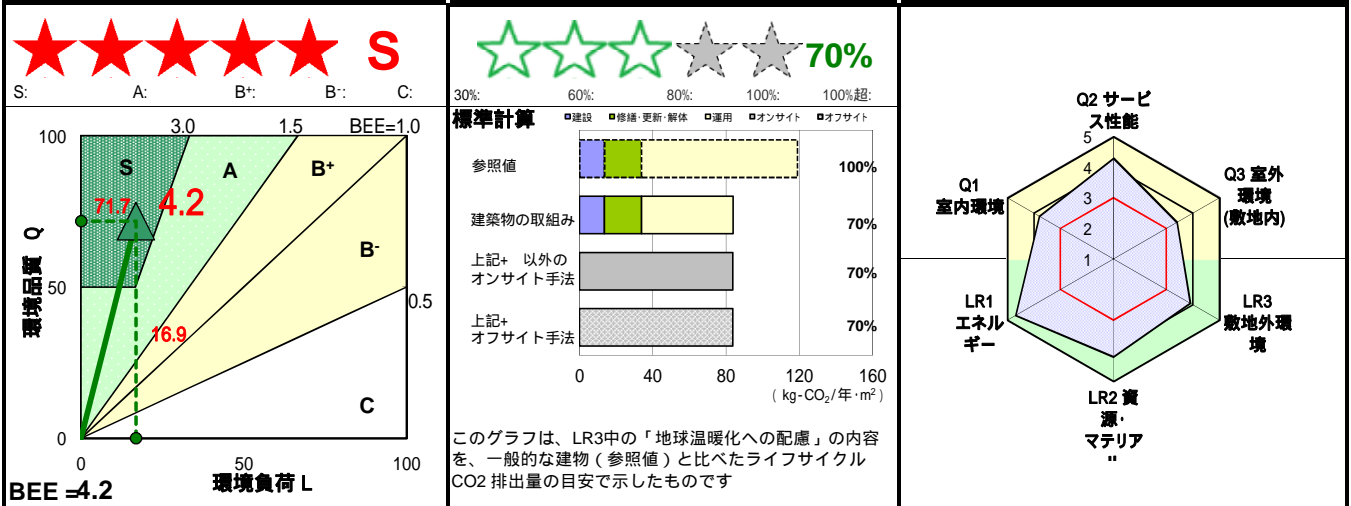


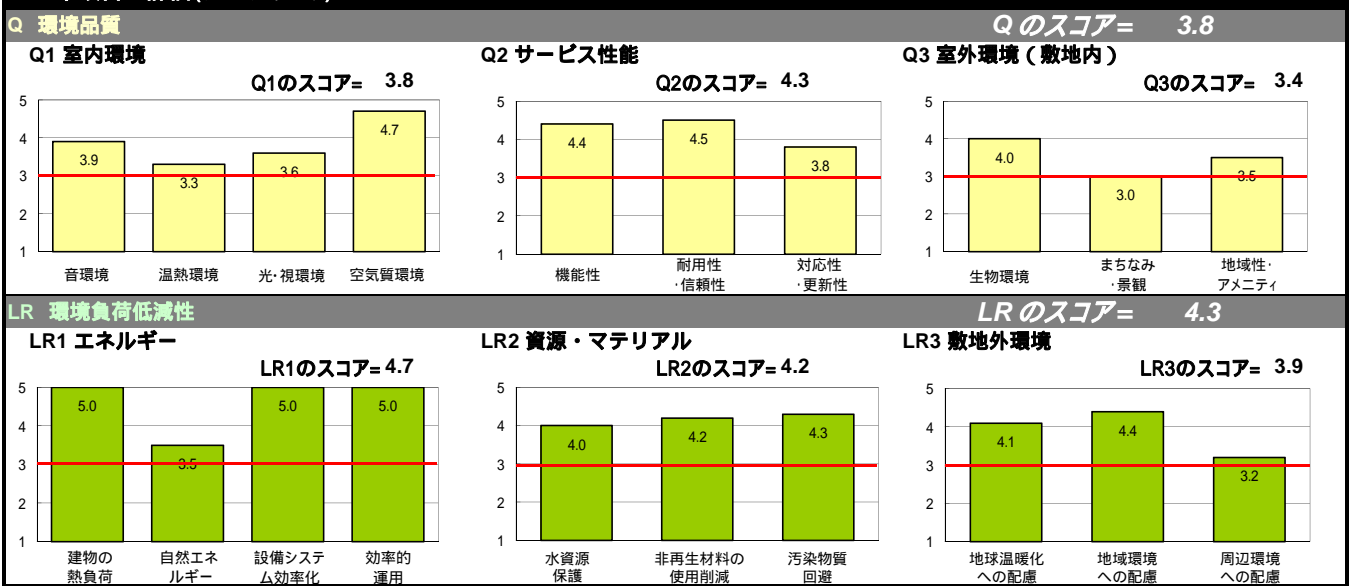


1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	株式会社東芝 電力システム社 (京浜)	
建設地	神奈川県横浜市鶴見区末広町2丁目4番地	
用途地域	工業専用地域 自動車ふくそう地区	
気候区分	地域区分	
建物用途	事務所	
竣工年	2014年2月 竣工	
敷地面積	23,779 m <sup>2</sup>	
建築面積	4,548 m <sup>2</sup>	
延床面積	22,213 m <sup>2</sup>	
階数	地上6F	
構造	S造	
平均居住人員	1500 人	
年間使用時間	2080 時間/年	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 注)「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のことです。評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出されます。



### 3 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号( ~)を示し記述してください。

地球温暖化対策(G) global warming	重点項目への取組(5点満点)	<b>5</b>
<p>エネルギー対策 ( 建物の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 効率的運用)</p> <p>高性能な外皮により、外乱の進入を抑制し、基準階の制御単位を細分化した空調により、室温制御している。</p> <p>太陽光発電システムを取り入れ、取組の重要性をアピールするとともに、省エネに努めている。</p> <p>変風量制御をはじめとした各種インバーター制御、高効率な熱源機器の採用、照明タイマー制御・昼光利用、高効率照明の採用をしている。</p> <p>設備システム評価の出来る監視設備を採用し、BEMSにより管理・評価・運用を行う。</p> <p>敷地外環境対策 ( 地球温暖化への配慮)</p> <p>対象エリアを最大限に緑化している。</p>		
ヒートアイランド対策(H) heat island	重点項目への取組(5点満点)	<b>4</b>
<p>室外環境(敷地内)対策 ( 生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上)</p> <p>横浜市「京浜の森づくり」事業を念頭に置き、芝生、木々、ピオトープを整備する。潜在自然植生に基づく植栽や、小動物が生息し易い植栽により、構築している。ピオトープの一部を地域開放する事により、ともに楽しみ、地域周辺のエコアップの牽引をする計画としている。</p> <p>緑地やアーケードを設けることにより、敷地内の日影の形成に努めている。芝生面積を大きく確保する事により、地表面温度の気温上昇を抑えている。</p> <p>屋上緑化や高効率機器の採用により、熱負荷抑制を行っている。</p> <p>敷地外環境対策 ( 温熱環境悪化の改善)</p> <p>適度な隣棟間隔を取り、東西の風通りに配慮している。</p>		
長寿命化対策(L) long life-cycling	重点項目への取組(5点満点)	<b>4</b>
<p>耐用性・信頼性 ( 耐震・免震 部品・部材の耐用年数向上)</p> <p>損傷制御設計を行い、高い耐震性を有している。免震構造を採用している。</p> <p>耐用年数に考慮した、外壁材、内装仕上げ材、ダクト、配管材の選定を行っている。</p>		
<p>対応性・更新性 ( 空間のゆとり 荷重のゆとり 設備の更新性)</p> <p>基準階高4.2m、天井高さ2.9m、壁長さ比率0.055としている。</p> <p>事務室の一部を4,900N/m<sup>2</sup>とし、ヘビービューティーゾーンを設けている。</p> <p>OAフロア、システム天井を採用して、設備の更新性を高めている。屋上に将来対応の設備スペースを確保している。</p>		
まちなみ・景観への配慮(T) townscape	重点項目への取組(5点満点)	<b>3</b>
<p>室外環境(敷地内)対策 ( まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮)</p> <p>事業所全体の建物配置軸に合せ、駅からの景観にも配慮した配置としている。周囲に同調する色彩を採用している。</p> <p>駅やバス停を動線計画に取り込み、駅前に歩道エリアや人溜まり・庇を設け、一体的に整備することにより、安全性と快適性に配慮した計画としている。</p> <p>ピオトープの一部を地域開放する事により、地域のアメニティ向上、ピオトープネットワークの活動に貢献できる計画としている。</p>		
太陽光発電又は太陽熱利用の導入	その他の配慮事項 横浜市重点項目以外の取組内容、CASBEEで評価し難い環境配慮の取組みなどがあれば、ここに記載してください。	
 <span style="background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">太陽光利用</span>		